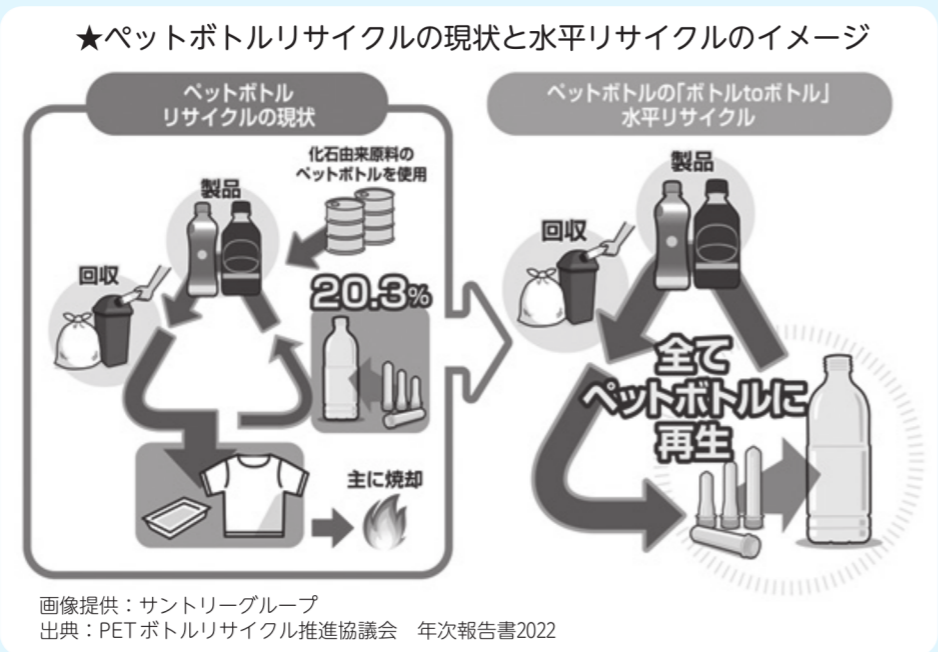


水平リサイクルは、リサイクル方法の1つで、回収したペットボトルから新しいペットボトルを作るように、リサイクル前と後で用途を変えずに資源を循環させる方法のことです。水平リサイクルを

「水平リサイクル」ってなに？



ペットボトルから
ペットボトルへ再生

県内初！
水平リサイクルの取組み

尾花沢市 大石田町

尾花沢市環境衛生事業組合
大石田町環境衛生事業組合



サントリーグループ

6月19日(月)に協定を締結

尾花沢市・大石田町・尾花沢市大石田町環境衛生事業組合とサントリーグループによるペットボトルリサイクル「ボトルtoボトル」水平リサイクル事業に関する協定締結式が、6月19日(月)に尾花沢市役所で行われました。この事業は、「資源循環型社会の実現」を目指し、尾花沢・大石田地域で排出、収集されるペットボトルのほぼすべてを新たなペットボトルへリサイクルする取組みで、県内初の試みです。

サントリーグループでは、2030年までに全世界で使用するすべてのペットボトルの素材を、リサイクル素材や植物由来素材のみとし、化石由来原料の新規使用ゼロを目指して「ボトルtoボトル」水平リサイクル事業を展開しています。同社グループのこれらの取組みに、両市町・同組合が趣旨に賛同したことから、今回の協定締結にいたしました。



行うことができれば、使い終わった資源を何度も循環させることで半永久的に使い続けることができます。

また、ペットボトルの場合、新たに石油から作り出すのに比べて二酸化炭素排出量を60%削減できることから、近年様々な企業から注目されています。

町民のみなさんへ
お願いしたいこと

ペットボトルの水平リサイクルの推進にあたり、分別方法など次の3点について、町民のみなさんに引き続きご協力をお願いします。

- ①ラベルをはがすこと。
- ②キャップを外すこと。
- ※ペットボトルのキャップやラベルは、PETとは違う素材を使っていたり、着色や印刷がされています。ペットボトルと混入しないようご協力をお願いします。

③ペットボトルの中を軽くすすぎます。



▲6月19日(月)に尾花沢市役所で行われた協定締結式

ペットボトルリサイクルの現状

国内でのペットボトルのリサイクル率は約86%と、アメリカ(約18%)やヨーロッパ(約42%)と比べても非常に高い水準となっています。そのため、ペットボトルは「リサイクルの優等生」と言われ、「ゴミ」ではなく「資源」として有効利用されています。その一方で、同じペットボトルにリサイクルされる割合は約20・3%にとどまっており、ほとんどは衣類や食品パックに再生され、最終的にはゴミとして焼却されているのが現状です。

※ペットボトルが汚れているとリサイクルの過程で余計な洗浄が必要になったり、リサイクル自体ができなくなる場合があります。

水平リサイクル事業の開始は、令和6年の4月を予定しています。効率的なリサイクル、資源循環を行うために、飲み終わった後のペットボトルの分別に、引き続きご協力をお願いします。

★ペットボトルの正しい分別方法



画像提供：サントリーグループ